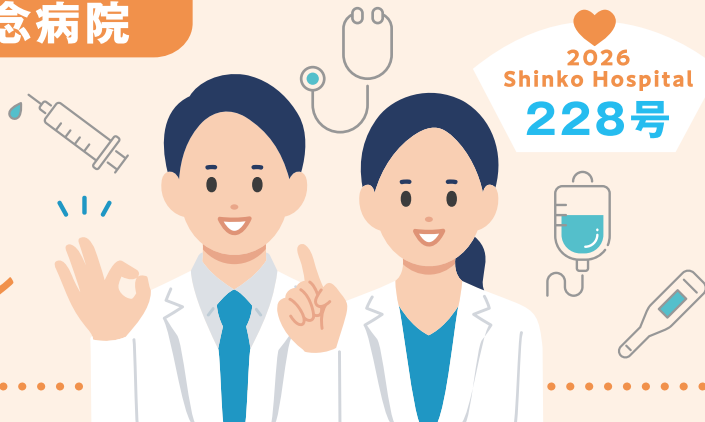




特集

呼吸器外科 新科長のご紹介

●呼吸器外科 科長 兼 部長 山田 徹

2026年3月より当院 呼吸器外科に着任いたしました、^{やま だ てつ}山田 徹と申します。2015年4月からNHO姫路医療センター、2023年11月から神戸市立医療センター中央市民病院に続き、兵庫県での呼吸器外科勤務としては12年目になります。

呼吸器外科医を志した2000年から肺がんに対する胸腔鏡下肺葉切除(Video-Assisted Thoracoscopic Surgery; VATS)、2018年からはロボット支援胸腔鏡下肺葉切除(Robot-Assisted Thoracoscopic Surgery; RATS)が保険収載され、この四半世紀は、肺がん手術の大きな変革期と言えます。

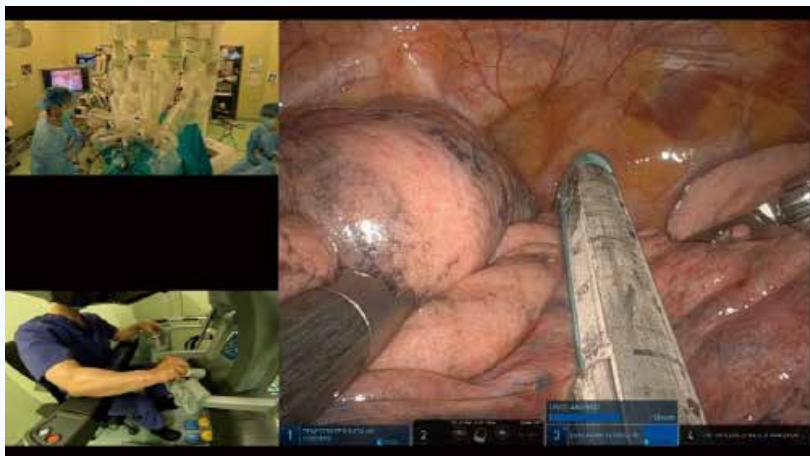
2000年に京都大学医学部附属病院呼吸器外科研修医、2001年から静岡市立静岡病院で胸



部心臓血管外科として研修の後、2003年から4年間勤務した高槻赤十字病院では、主に開胸での肺がん手術をご指導いただき、同時に細胞診断学、肺がんの抗がん剤治療、緩和治療も学ぶ機会をいただきました。2015年から勤務したNHO姫

路医療センターは胸腔鏡手術の先駆的な施設の一つで、今でも学会では“姫路式VATS”という言葉を目にします。本格的に胸腔鏡手術を学ぶと同時に、2020年からはロボット支援胸腔鏡手術を開始し「姫路式RATS」と言える形にすることができました。

2023年から、神戸市立医療センター中央市民病院で新しい若いチ



当院RATSの様子

ームでRATSを再開、神戸発の国産手術支援ロボット「hinotori」も導入し、Console Surgeon(術者)3名体制まで成長することができました。

これまでに500例のRATSに参加し、200例をConsole Surgeonとして執刀し、8施設のRATS導入支援を行いました。

当院では、2015年に第3世代の手術支援ロボットdaVinci Siが泌尿器科領域で逸早く導入され、呼吸器外科領域でも保険収載直後の2018年よりRATSを開始しています。2023年12月には、第4世代の手術支援ロボットdaVinci Xiに更新されています。RATSにより開胸手術や胸腔鏡手術から大きく進化した縦隔腫瘍手術や、肺がん手術症例でも、肺実質温存のための区域切除やリンパ節郭清など、患者さんにとってのメリットが大きいと考えられる場合には、積極的にRATSを検討していきたいと考えております。

2008年に京都大学大学院医学研究科博士課程に進学し、主に肺移植領域の研究を行いました。当時の日本では、人口あたりの脳死ドナーが他国と比べて著しく少なかったため、脳死肺移植



京都大学医学部附属病院における肺移植の様子
(左から 京都大学教授・芳川豊史先生、山田、
天理病院・宮本英先生、東京大学教授・佐藤雅昭先生)

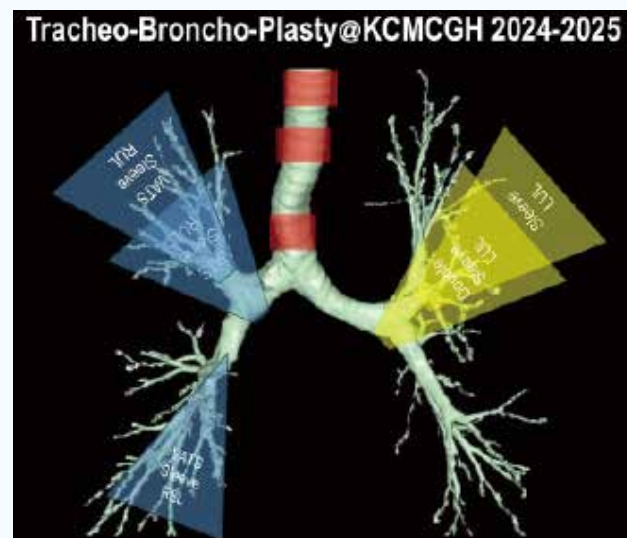


Toronto General Hospitalでの脳死両肺移植の様子
(左から山田、Toronto大学胸部外科主任教授・安福和弘先生)

の手術経験を得るために2010年から2011年にカナダのトロント大学胸部外科で肺移植、胸部外科のClinical Fellowとして臨床研修する機会をいただきました。帰国後、京都大学医学部附属病院での3年間を合わせた7年間は肺移植の臨床、研究に関わりました。

肺移植の臨床手術経験と合わせて、NHO姫路医療センターでもたくさんの気管、気管支形成、隣接臓器合併切除、血管形成などの拡大手術を経験し、神戸市立医療センター中央市民病院でも他科との連携のもとに拡大手術を実践することができました。

肺がん治療は免疫チェックポイント阻害薬や分子標的治療薬の発展により大きな変革期を迎えています。これらの最新の肺がん治療と組み合わせ



前任病院での気管・気管支形成術

せることで、以前はあきらめざるを得なかったような症例でも「根治的切除」手術を検討できるようになりました。

一人でも多くの患者さんに「神鋼記念病院で肺がん治療を受けてよかった」と思ってもらえるよう、当院の強力な呼吸器内科、放射線科とも協力して、チームとしての肺がん治療に取り組んで参りたいと思います。

当院呼吸器外科は現在、呼吸器センター長の榎屋大輝先生と二人の体制です。目指すのは「自

分や家族が患者になった時に受けたい医療」を実践することです。当院呼吸器外科の診療や手術の様子をみて、一人でも多くの若い先生達に呼吸器外科医を志してもらえるように願っています。

肺がんと診断された患者さんが、ご紹介いただいた先生方のところに元のように元気に帰っていただけるように、診療と研鑽を続けて参ります。

お気軽にご連絡いただければ幸甚に存じます。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

地域で生活続けるために ～当院の呼吸リハビリテーションの取り組み～

リハビリテーション室 認定理学療法士(呼吸) 小林 尚登

◆「息切れの悪循環」を断つ

呼吸器疾患をお持ちの患者さんは、息苦しさを避けるために活動を控えがちです。しかし、身体を動かさないことで筋力や呼吸効率が低下し、さらに息切れが悪化する「デコンディショニング(息切れの悪循環)」に陥ります。この負の連鎖に歯止めをかけることが、呼吸リハビリテーションの大きな目的です。

◆「動く・食べる・知る」の 三位一体のアプローチ

当院では、薬物療法に加え、多職種が連携しながら以下の3つを柱とした医療を提供しています。

●動く(運動療法)

効率的な呼吸法を習得し、日常生活に必要な筋力や体力の維持・向上を図ります。

また、患者さん一人ひとりの生活様式を評価し、適切な運動量や運動方法をご提案します。

●食べる(栄養管理)

管理栄養士と連携し、筋力や体力の維持に必要な食事指導を行います。呼吸は多くのカロリーを消費する動作です。効率よくカロリーを摂取し、ご自宅でも継続できる栄養習慣を身につけていただければよう支援します。

●知る(セルフマネジメント)

体調の変化(増悪)を患者さんご自身が早期に察知し、適切に対処できる力を養います。日々の体調や体温、倦怠感、痰の量や色などを把握することで、症状が悪化する前に受診し、重症化を予防することができます。

◆当院の診療体制 ～在宅酸素療法をご利用の患者さんへ～

在宅酸素療法をご利用されている患者さんには、入院による病状の変化に伴い、酸素流量や使用機器の変更が必要となる場合があります。その結果、活動時間の短縮を余儀なくされることも少なくありません。当院では、患者さんが安心して元の生活に戻るよう、退院後の生活を見据えた支援を行っています。運動負荷試験や入浴動作など、酸素消費量の多い活動をリハビリテーションの中で確認し、主治医と連携しながら適切な酸素流量の調整を行い、生活復帰に向けた準備を進めています。また呼吸器リハビリテーションに関する専門資格を有するスタッフが在籍しており、質の高い呼吸リハビリテーションを提供しています。今後も地域医療のパートナーとして、患者さんの健やかな日常生活を支えてまいります。

神戸とあ内科クリニック

今回の開業医探訪は、地下鉄県庁前駅より東へ約3分。生田新道沿いで
 消化器疾患を中心に診療している「神戸とあ内科クリニック」を訪れました。



◎診療を開始されて

どれくらいになりますか？

令和7年(2025年)11月11日に開院し、現在2年目になります。これまで阪神間の医療機関で消化器疾患を中心に20年近く勤務しておりましたが、開院を機に出身地である神戸へ戻ってまいりました。

◎どのような患者さんが

来院されますか？

比較的若い方の受診が多いと感じています。症状は、風邪や腹痛など一般的なものはもちろんのこと、日曜日や祝日の午前中も診療していることから、緊急を要する症状で開院している診療所を探し、遠方から来院されるケースも多くあります。また、健診で異常を指摘された方や、転居に伴い、かかりつけ医の変更を希望される方もいらっしゃいます。内視鏡検査(胃カメラ・大腸ファイバー)も行っておりますので、診療状況に応じて柔軟に対応しています。

◎診療にあたり心掛けていることは

何ですか？

診察の際、来院理由や症状などを患者さんから伺うなかで、丁寧に確認していく

と、当初は話されなかったお気持ちや診療上重要な内容を後になって打ち明けられるケースによく出会います。

オープンクエスション(開かれた質問)などを通じて、患者さんと同じ目線に立って傾聴することを大切にしています。患者さんとの信頼関係を築き、安心して満足いただける第一歩だと考えています。

また、病院とは異なり、クリニックでできることには限りがありますが、その範囲のなかで患者さんによって最善の選択肢を説明・提案するよう心がけています。必要に応じて他院との円滑な連携(紹介)を行い、適切な医療につなげることに努めています。

◎ひとこと

中央区下山手に開院した新しいクリニックで、ほぼゼロからのスタートでした。開院から1年半が過ぎ、少しずつ地域に溶け込めてきたのではないかと感じています。現在、在宅医療にも関心を持っており、体制作りを検討しています。引き続き真摯な気持ちで地域に根ざした診療に取り組み、患者さんの心身の健康を支えていきたいと考えています。

神戸とあ内科クリニック

住 所:兵庫県神戸市中央区下山手通

3丁目15番4号

電 話:078-977-8810

医師名:伊原 啓雄

休診日:木曜日・土曜日午後・日曜日午後・祝日午後

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~10:00	/	/	/	/	/	○●	○●
10:00~13:00	●	●	●	/	●	○●	○●
14:00~17:00	○●	○●	○●	/	○●	/	/
17:00~19:00	●	●	●	/	●	/	/

● 診察 ○ 検査

INFORMATION

令和8年度 神鋼記念病院 地域医療連携交流会

日時 2026年10月22日(木) 18:30~20:30 [講演会:18:30~19:30 / 懇親会:19:30~20:30]

場所 呼吸器センター・管理棟5階 大会議室

*詳細につきましては、改めてご案内いたします。

Medical News

2026年7月
Vol.228



神鋼記念病院

Contents

■呼吸器外科 新科長のご紹介

■地域で生活続けるために
~当院の呼吸リハビリテーションの取り組み~

■開業医探訪

■神鋼記念病院理念

公益性を重んじ、質の高い医療を通して
皆様に愛される病院を目指します。

■基本方針

1. 快適な医療環境と医療設備を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの人格や価値観を尊重し、プライバシーを守ることを約束します。
3. 断らない救急医療を目指し、地域社会の信頼と期待に応えます。
4. 地域の医療機関や行政との連携を密にし、切れ目のない医療サービスの提供に努めます。
5. 高い医療技術を持った人間性豊かなスタッフを育成します。
6. 職員が心身ともに健康で、一人ひとりの能力を発揮できる職場づくりを推進します。

社会医療法人神鋼記念会
神鋼記念病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 1-4-47

TEL:078-261-6711 (代表)

FAX:078-261-6726

URL: <https://shinkohp.jp>

発行責任者: 理事長 山本 正之

編集責任者: 神鋼記念病院広報委員長

松本 元

詳しい情報はこちらから!!

神鋼記念病院

検索

<https://shinkohp.jp>

